

これまでの取り組み

南三陸町立伊里前小学校
教諭 阿部正人

宮城県南三陸町

- 南三陸町といえば

南三陸町立伊里前小学校



南三陸町立伊里前小学校



自己紹介

- 本吉町立小泉小学校 卒業 将来の夢
スペースシャトルのパイロット
- 本吉町立小泉中学校 卒業 将来の夢
有機農業と喫茶店の経営
- 気仙沼高校 卒業 将来の夢
学校の先生
- 玉川大学農学部 卒業 将来の夢
小学校教諭
- 南三陸町立伊里前小学校 教諭(教職19年)
現在の夢 持続可能な社会(町)をつくる

自己紹介

- 東京都子ども会連合会事務局(2年)
- 東京児童文化研究会「めだかの学校」(2年)
- 宮城県立気仙沼養護学校(5年) 訪問教育3年
- 気仙沼市立面瀬小学校(9年)
- 英語活動、国際理解教育、環境教育、ESD
- 「地域や専門機関と連携した地球探索型国際環境教育プログラム開発」
- 気仙沼市立鹿折小学校(3年)
- 英語活動、国際理解教育、ESD、ユネスコスクール
- 南三陸町立伊里前小学校(2年目)
- 従来から地域と連携した体験活動が展開されていた。

南三陸町立伊里前小学校の 総合的な学習の時間

- 3年生 ホタテ 椎茸
- 4年生 ワカメ
- 5年生 カキ
- 6年生 歌津の未来

漁協や水産会社、公民館との連携したプログラム

ワカメの一生を学ぶ

ワカメの赤ちゃん観察

伊里前小生 2学期から養殖体験
4年生

気仙沼市立鹿折小学校での取り組み

- 気仙沼おむすびをつくろう(2007)
- 気仙沼ポスターを作ろう(2009)

4年生の例

関心の喚起	児童がもっている「気仙沼」のイメージについて話し合い、共通部分としての漁業について探究することを確認する。学習のまとめとして、気仙沼を紹介するポスターを作成し、留学生や米国の小学校、更に他の地域にも紹介することを知らせ、学習への動機付けを図り、1年間の見直しをもたせる。	
理解の深化	参加する態度や問題解決	ノースの活用
1 自分の住む町の特徴を知る。 ・学校給食、魚市場	地域に関心をもつ。 自分たちの住む町の文化や人のつながりを知る。 グループで協力し活動したり、様々な人とかわる→コミュニケーション能力。	【学校栄養職員】 【観光ボランティア】 【聖域教育大学留学生】
2 漁業について調べる。 ・漁船、突きん棒漁	自然の仕組みと食の関係の理解。 海の恵みを考える。 生活と海の生態系のつながり。 生き物と海の多様性。 プレゼンテーション能力。	国際交流活動：動機付けと課題作り 比較による良さの発見 【料理人、市農林水産課】 【漁師、学芸員】
3 海の生態系や三陸沖の生物の多様性について知る。 ・漁師への取材、鯨の解体、中間発表	情報を収集し分析する力。	国際交流活動：日本と外国との比較 異文化理解 異なる他者の受容 グローバルな視野 【寿司店、食堂、商店等】 【ユネスコスクール】
4 自分の町の特徴や良さを調べる。 ・新聞記事、NPO等	異文化や異文化をもつ人々の背景や文化の違い他者と協力し さに気づく。 他の地域との交流を通してグローバルな視野をもつ。	
5 自分の町の特徴や良さを発信する。 ・100%地産メニュー、ポスター		

MTPによるカリスバーグ小学校との間接交流

鹿折小学校	カリスバーグ小学校
1年 草花の成長や草木染め	1年 草花の成長や草木染め
2年 野菜の栽培、収穫の喜び	2年 野菜の栽培、収穫の喜び
3年 昆虫の分布や飼育	3年 昆虫の分布や飼育(蝶)
4年 地域の産業 (水産業・フカヒレ)	4年 地域の産業 (OIL)
5年 鹿折川的环境	5年 トリニティ川的环境
6年 福祉の町	6年 みんながしあわせになる町づくり

コミュニケーション

テキサス州のカリスバーグ小学校と福祉教育をテーマにした交流活動

実践例 6年生「福祉の町、やさしい町づくり」から

英語活動 総合的な学習

国際交流活動

テキサス州のカリスバーグ小学校と環境教育をテーマにした交流活動

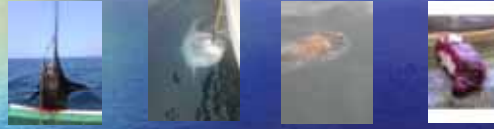
実践例 1年生「カリスバーグ小学校のおともだち」から

気仙沼大好き!

この字岸壁に調べに行こう



菅野さんの話は 三陸沖の自然の話に広がる



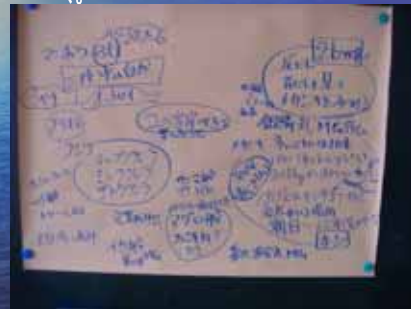
- どんな生き物がいるのでしょうか。どうしてこんなに生き物がいるのでしょうか。
- 携帯メールでのレポート

菅野さんの話は 三陸沖の自然の話に広がる



突きん棒漁のお話

- 菅野潔さんに突きん棒漁について聞く。



突きん棒漁と黒潮文化

● リアスアーク美術館川島秀一先生のお話



親子料理教室

- 市役所 農林課 水産課と共催
- 地元の寿司店、料理人
- 地元の食材(水菜、キュウリ、トマト、タマネギ、塩、卵、お米、メカジキ、カツオ)
- 親と子が共に協同で学ぶ
- 地域への発信

メカカレー

- カレーはみんな好き。
- かつての気仙沼で肉の代わりだったメカジキを体験。
- 世代をつなぐことが期待できる。
- 国際理解として発展が期待できる。
- 比較的簡単で今後、家庭でもつくることができる。
- 5年生の野外活動でカレーをつくる。

親子料理教室のご感想

1組 親子さんのお名前 新田 友司

親子料理教室に参加して、親子でカレーを作ることができて、とても楽しかったです。メカジキの味は初めてでしたが、とてもおいしかったです。また、メカジキの歴史や文化についても学びました。これからもこのようなイベントを続けてほしいと思います。

青空タイムのご感想

親子料理教室に参加して、親子でカレーを作ることができて、とても楽しかったです。メカジキの味は初めてでしたが、とてもおいしかったです。また、メカジキの歴史や文化についても学びました。これからもこのようなイベントを続けてほしいと思います。

親子料理教室のご感想

2組 親子さんのお名前 止家 仁

親子料理教室に参加して、親子でカレーを作ることができて、とても楽しかったです。メカジキの味は初めてでしたが、とてもおいしかったです。また、メカジキの歴史や文化についても学びました。これからもこのようなイベントを続けてほしいと思います。

青空タイムのご感想

親子料理教室に参加して、親子でカレーを作ることができて、とても楽しかったです。メカジキの味は初めてでしたが、とてもおいしかったです。また、メカジキの歴史や文化についても学びました。これからもこのようなイベントを続けてほしいと思います。

青空タイムのご感想

親子料理教室に参加して、親子でカレーを作ることができて、とても楽しかったです。メカジキの味は初めてでしたが、とてもおいしかったです。また、メカジキの歴史や文化についても学びました。これからもこのようなイベントを続けてほしいと思います。

親子料理教室

漁師さんと共に進む

6月17日 4年 遊走子の観察
南三陸町前自然環境活用センター太宰彰浩氏
宮城教育大学島野智之准教授
6月 4年 漁師 小野寺弘司氏
種を付けるロープ作り
水槽でワカメの種を育てる

漁師さんと共に進む

7月19日 5年 歌津の海の様子を知る
地元漁師さんと海野義明氏に聞く
三宅島の復興の様子を知る

復興に向けた学級の取り組み



復興に向けた学級の取り組み

